

(2010.9.8)

発行：島根大学男女共同参画推進室（さぼっと SU-PPOT）

9月に入りましたが、まだ酷暑が続いていますね。涼やかな秋の到来を心待ちする声がキャンパスで聞こえてきます。さて、去る8月27日、さぼっとはNWE C(ヌエック：国立女性教育会館)フォーラム2010のワークショップ「大学における男女共同参画意識の醸成」を筑波大学、山形大学とともに運営しました。三大学の取組の発表、参加者との意見交換等を通して多くの情報を得ることができました。今回の経験は「誰もが学びやすく 働きやすい島根大学」を目指した今後の事業取組に活かしてまいります。

☆今号の目次

- 1 子育てサポーター養成講座のご案内(松江キャンパス、9月28日～30日)
- 2 第5回「学生相談についての教員とカウンセラーとの懇談会」のご報告と第6回懇談会のご案内(松江キャンパス、9月10日)
- 3 出雲キャンパスで子育てサポーター養成講座を開きました(7月24日～25日)
- 4 島大親子交流会を開きました(松江キャンパス、8月11日)
- 5 連載コラム「育児するお父さんへのエール」第15回
イクメン修行中なう(その3)～1歳児の父親編～ 家島明彦
- 6 「派遣型病後児保育サポートシステム」利用希望者、事前登録随時受付中！

☆1 子育てサポーター養成講座のご案内 (松江キャンパス、9月28日～30日)

さぼっとは、本学の教職員と学生の子育てと仕事・学業の両立を支援するための人材育成を目的に、「子育てサポーター養成講座」を開講しています。出雲キャンパス(7月に実施)に引き続き、松江キャンパスでも以下の日程で同講座を実施いたします。子育てに関する基礎的な知識を学びたい方、「子育てサポーター」として学内の子育て支援事業に関わりたい方、参加しませんか？ 日程の部分的な受講も可能です。

日時：9月28日(火)・29日(水)・30日(木) 3日間 9:00～15:00

場所：島根大学 大学会館 2F 集会室 (1) (2)

※30日(木)は、つわぶき保育園で実習を行います。

対象者：学生・教職員・教職員の家族・地域住民

申込締切日：9月13日（月）

申込方法：Tel または E-Mail で、男女共同参画推進室にお申し込みください。

Tel. 0852-32-9766（内線）2375

E-Mail. kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

3日間のプログラムをすべて受講された方には、「子育てサポーター養成講座修了証書」をお渡しします。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H22-08-23_4/

☆2 第5回「学生相談についての教員とカウンセラーとの懇談会」の報告と第6回懇談会のご案内(松江キャンパス、9月10日)

8月10日、さぼっとの女性支援カウンセラーによる「第5回学生相談についての教員とカウンセラーとの懇談会」が開かれました。カウンセラーを含め7名の参加者があり、教育の現場で教員の皆さまが現在、対応に苦勞しているケースについて話し合いました。具体的な対応案がカウンセラーや参加者から出されました。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H22-08-23_1/

「第6回学生相談についての教員とカウンセラーとの懇談会」を以下の日程で開きます。少人数の懇談会、夏休み期間中でもありますので、ご都合のつく方はお気軽にご参加ください。

日時：9月10日(金) 13:30～15:00

場所：島根大学男女共同参画推進室 カウンセリングルーム（総合理工学部2号館3階）

申込方法：お名前、連絡先を明記の上、ファックスかメールでお申し込みください。

*当日の飛び入り参加も歓迎いたします。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H22-08-23_2/

☆3 出雲キャンパスで子育てサポーター養成講座を開きました(7月24日～25日)

さぼっとは、7月24日と25日に医学部附属病院ワークライフバランス支援室との共催で、「子育てサポーター養成講座」を出雲キャンパスで開講しました。地域の方々、医学部職員、医学科学生をあわせて28名の受講者がありました。

救急蘇生法の実習では、医学科の学生が、救急医学で学んだ知識とスキルを披露しながら模範実技や実技指導の手伝いをするなど、大活躍しました。

講座終了後に、さぼっとから、全プログラムを受講した20名に修了証が渡されました。これらの受講生のなかから、早速、ワークライフバランス支援室の病児・病後時保育や、学童一時託児（現在計画中）への問い合わせも寄せられました。

詳細は、さぼっとと医学部附属病院ワークライフバランス支援室の以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H22-08-02_1/

http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/wlb/report1/topics_2-1.html

☆4 島大親子交流会を開きました(松江キャンパス、8月11日)

さぼっとは、8月11日、島根大学に在職・在学している教職員・学生とそのお子さん、および病後児保育サポーターとの親睦を深め、相互の意見交換を行うために「島大親子交流会」を松江キャンパスで開きました。交流会には、病後児保育サポーターとさぼっとスタッフを含め、8名が参加しました。交流会の継続を望む声が寄せられていますので、より多くの方々が参加できるよう時期や日程を検討いたします。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H22-08-23_3/

☆5 連載コラム「育児するお父さんへのエール」第15回

イクメン修行中なう(その3)～1歳児の父親編～

家島明彦(教育開発センター)

QOLとは、Quality of Life (クオリティ・オブ・ライフ) の略語で、「生活の質」や「人生の質」などと訳されます。近年では、特に主観的 QOL (すなわち、精神的な豊かさや人生に対する満足度) が重視されています。

一方 QOR とは、Quantity of Research (クオンティティ・オブ・リサーチ) の略語で、「研究の量」のことです。QOL をもじって勝手に考えた造語ですが、若くして親となった研究者の悩みには、QOL (Quality of Life/生活の質) と QOR (Quantity of Research/研究の量) の間のジレンマや葛藤が多いように思います。父親になったからには子育てを楽しんで QOL を高めたいところですが、一方で、業績数で評価される研究者は QOR も求められているからです。・・・

続きは、さぼっとの以下のページをご覧ください。

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/record/child-men/ieshima/03/>

☆6 「派遣型病後児保育サポートシステム」利用希望者、事前登録随時受付中！

さぼっとは、本学の教職員・学生（留学生も含む）であれば、どなたでも利用できる「派遣型病後児保育サポートシステム」を実施しています。同システムの利用には、保護者による事前登録と保護者と病後児保育サポーターとの事前面談が必要となります。利用ご希望の方は、さぼっとまでご連絡ください。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-10-23_3/

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は
kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp までお願いします。

★ お 願 い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような設定の講座等におかれましては、代表の方が講座内のスタッフ 全員に転送・配信くださいますようお願いいたします。また、PC 環境にないスタッフがおられる講座等では、大

変お手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。
